

平成29年度

## 自己評価及び外部評価結果

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	1493200107	事業の開始年月日	平成19年6月
		指定年月日	平成19年6月
法人名	社会福祉法人 幸済会		
事業所名	高齢者グループホーム かわしまの里		
所在地	(〒241-0011) 横浜市旭区川島町1882-1		
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護	登録定員	名
	<input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	通い定員	名
		宿泊定員	名
		定員計	9名
		ユニット数	2ユニット
自己評価作成日	平成29年3月	評価結果 市町村受理日	平成30年5月14日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

協力診療所に体調面の変化がある方など、情報を送り日々の健康管理に力を入れております。また、受診に関しても施設職員で対応する事が多く、早い対応やご家族様の負担軽減に繋がっているかと思っております。行事などでは、季節ごとの施設内行事の他にも、法人全体での行事（旅行やお祭りなど）も多く、種類は豊富です。目の前に大きな公園があり、散歩や外気欲など気分転換を図るのに最適な環境です。公園で行われるお夏祭りや地域のボランティアさんなどを通じ、少しずつ地域の方との交流も増えてきております。また、共用型のデイサービスやショートステイ等を通じ、ユニットのご利用者様以外の交流もごございます。
--

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	公益社団法人 かながわ福祉サービス振興会		
所在地	横浜市中区山下町23番地 日土地山下町ビル9階		
訪問調査日	平成30年3月6日	評価機関 評価決定日	平成30年5月1日

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<b>【事業所の概要】</b> この事業所は、相鉄線鶴ヶ峰駅から徒歩で15分、目の前には緑豊かな椀谷公園、周辺には小学校や大きな病院などがある。法人は特別養護老人ホームやケアプラザ、デイサービス、居宅介護支援事業所のほか、3つのグループホームと小規模多機能型居宅介護事業所を運営している。事業所は共用型デイサービスとショートステイも行っている。 <b>【地域とのつながり】</b> 事業所が加入している町内会は高齢化が進み、若手がおらず困っているという町内会長の勧めで、管理者は消防団に入団した。入団をきっかけに地域とのつながりが見えてきたこともあり、積極的に地域の行事に参加しており、夏祭りや公園清掃の際は、法人職員も一緒に参加している。ケアプラザの祭りでは、近隣のグループホームと連携して認知症の啓蒙活動を行っている。中学校の体験学習の受け入れや、毎月の幼稚園児の来訪などによる多年代との交流は利用者の楽しみになっているボランティアの方のマンダリン演奏会には近隣住民も観客として訪れている。 <b>【法人内での連携】</b> 法人全体で「サービスマナー5原則」や「身体拘束排除の理念」などを作成し、利用者本位の姿勢を貫いている。法人全体でマナーの良い職員を選出し表彰する制度もある。また地域での活動を推奨しており、地域活動が業務に差し支えないよう相互に職員を出し合って応援している。看取りも早くから行っており、勉強会も開催している。事業所ごとでは行うことが難しい一泊旅行や遠足などの行事も法人全体で実施している。
---

### 【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	高齢者グループホーム かわしまの里
ユニット名	一茶

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/>	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/>	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「慣れ親しんだ地域で、家族や地域との交流を通しながら、家庭的な雰囲気できゅっくり、一緒に楽しく過ごして頂く」という理念を中心にご利用者のペースで生活が行える様意識しています。	法人理念のほか事業所理念もあり、ケアの基本としている。毎朝申し送り時に「サービスマナー5原則」と「事故防止4原則」「身体拘束排除の理念」を唱和している。理念は事務所に掲示し、事あるごとに理念に立ち返り支援を行っている。入職時に理念に関する研修をしている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	目の前の公園の定期清掃や地域の祭りの準備等を行っております。地域のお祭りでは、出店等も行いました。消防団の活動も少しずつ行わせて頂いております。	笠町内会に加入し、夏祭りやどんと焼きなどの行事に利用者と共に参加している。職員が地域の消防団で活動している。地域ケアプラザの祭りでは近隣のグループホームと合同でブースを作り認知症の啓蒙活動を行った。中学生や幼稚園児とも交流している。ボランティアによるマンドリン演奏会を行っている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の中学生の体験学習の受け入れ、地域ケアプラザでの認知症相談ブース開催など認知症理解の啓発をさせて頂きました。世界アルツハイマーデー付近には、包括と連携し、認知症の啓発活動も行っております。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、地域の行事や非常災害時の取り組みなどに良いアドバイスを頂き、実際に地域住民との合同の訓練に結びつけております。家族の参加が無いので、今後の課題です。	町内老人会会員、地域包括支援センター職員、利用者の参加を得て、年に6回開催している。利用者家族には運営推進会議の案内を手紙と一緒に出している。会議の参加者増について話したら、出席者からイベントと同時開催したらどうかとの提案があった。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	生活保護の方の対応や、近隣独居利用者の通所や短期利用など、利用に繋がる様に情報共有や担当者会議をしたりしています。	生活保護受給者のもとにケースワーカーが訪れる。役所と地域包括支援センターの話し合いに呼ばれたことがある。今夏不審者の侵入があり、警察と連携し見回りを強化してもらった。地域包括支援センターの研修に参加している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束排除の理念を掲げ、勉強会を活用しながら、身体拘束ゼロへ取り組んでおります。玄関や居室窓などは、防犯の観点から、ご家族様にご理解を頂きながら、施錠を行っております。	事務所に「身体拘束排除の理念」を掲示し、申し送り時に復唱している。法人の研修を毎年受講している。職員の言葉遣いはいいで、行動を抑制することのないよう指導されている。玄関は交通量の多い道路に面しているため施錠しているが、ユニット間は自由に行き来できる。出かけた素振りの利用者があると職員と一緒に散歩に出かける。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	毎年、勉強会を通じて虐待防止に向けた研修を行い、実践しております。ニュースなどで取り上げられるものについても周知をし、随時学ぶ機会を設けています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修を通し学んでおりますが全ての職員には伝えきれていない現状があります。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約前には、基本的に施設見学をして頂き、サービスや料金についての説明をさせて頂いております。その際に、不安な点や分からない事を必ず伺い、その上で契約を通し、再度丁寧に説明する事を心掛けております。契約書・重要事項説明書の雛形も窓口配置し、自由に目を通せる様にしております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	月に1度担当職員がご利用者様本人に意向を伺う様にしております。ご意見箱の設置を行っておりますが、活かされてない現状があります。	居室担当が毎月近況を報告する手紙を送付している。イベント時や来所時に意見を聞く機会があるが「お任せします」との返事が多い。運営推進会議への出席を呼び掛けているが、まだ出席はない。利用者の意見は聞けているが、どうしたら家族の意見を聞くことができるか模索している最中である。	利用者家族の意見聴取について、引き続き働きかけを期待します。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	管理者からの意見や情報の発信は多くありますが、職員からの提案という部分では日々の申し送り時などが中心となっております。ただし、日常的に意見や相談しやすい環境は設けております。	常勤職員が出席するミーティングで意見交換している。全職員が議事録を閲覧し、押印している。職員は各フロアのリーダーに意見を口頭で伝えたり、申し送りノートに書いて運営の改善に参画している。今年度は共用型デイサービスの業務に関して職員で話し合っ て見直しを行った。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者が直接個々との面談などは殆ど行えておりませんが、管理者が話す機会を多く持っております。給与水準という部分では、資格や勤続年数が基本となっております		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	年間の研修カリキュラムを中心に個々のスキルアップの機会を多く作って頂いております。介護福祉士修得の研修、喀痰吸引研修などの参加支援をしております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	ネットワーク作りという部分では、地域包括開催の高齢者福祉入居施設連絡会やGH連絡会などに参加しております。また、他施設の交換研修も行って、情報交換を行っております。共用型DSを展開した事で、外部のケアマネとも意見交換をする機会も多くなりました。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	施設の入所前は、基本にご利用者様に中の雰囲気を感じて頂き、スムーズに入所出来る様に短期利用から開始したり、配慮しております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	契約の際に、ご家族様に施設でどの様に過ごして欲しいか、不安な事がないか伺うように心がけております。また、施設入所が不安な方などで、短期利用から始められた方も多くおります。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	計画作成担当者を中心に先ず、ご本人様に慣れて頂く様なケアを職員間に徹底させています。また医療との連携など、今までの診療が途切れない様にも努めております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	出来る事は行って頂き、出来ない事をお手伝いさせて頂くという事を心がけております。ご利用者様のお手伝いも多くの方が出来る事を行って下さいます。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月の手紙や状態が優れない時などの連絡を通して情報の共有に努めておりますが、「家族と共に」という部分では、まだまだ不十分でご家族様にも、もっと足を運んで頂きたい思います。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人宛に来た手紙などは、本人の側で読み上げたりしています。また、電話の利用に関しても職員が手伝いをしたりして、行える様になっています。施設からも毎月お便りを送っております。	友人が来訪した際は居室に案内し、湯茶でもてなしている。利用者からお墓参りに行きたいとの希望があり、実施に向けて計画している。手紙や年賀状のやり取りを支援している。利用者が好む昔の歌やのど自慢の番組などを職員も一緒に見るようにしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	お手伝いやレクを通じてご利用者様同士の関係を支援しております。座席なども孤立しない様に配慮しております。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	こちらから、ご連絡する事は殆どありませんが、ご相談などがある際は確りと対応させて頂いております。退所後の入居施設の申し込みのお手伝いなどをさせて頂いております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	担当職員と計画作成担当者を中心にアセスメントを行い、意向の把握に努めています。	入所に際しては、まずショートステイで試してもらっている。居室担当の職員が毎月「個人担当記録」を提出し、情報を共有できるようにしている。買い物や散歩、外食等の外出の希望が多くあり、個別で支援している。また思いを表出することが困難な利用者については、生活歴や家族の意見を参考に本人本位で検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時の情報収集にて把握に努めております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	担当職員が毎月、個人担当シートを基に状況の把握に努めております。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご利用者様、ご家族様、担当職員、計画作成担当者が中心となって行っておりますが、一部のご家族様とは書類でのやりとりとなる事もございます。	毎月「個人担当記録」でモニタリングを行ない、6か月毎のカンファレンスで評価して、計画書を更新している。計画書は事務所内に置いて、記録を書く時に見られるようにしている。計画を実行できた時は、介護記録に番号で記入している。利用者家族の意見や医師の意見を入れて計画を作成している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	情報の共有に関しては、連絡ノート・申し送り等で行えていると思います。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	介護認定の更新手続きや特養の申し込みの相談、支援を行っております。また、協力病院以外の通院なども、出来る範囲で支援しております。共用型DSや短期利用など、様々な事に取り組んでいます。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域のボランティアの方による音楽会や町内会によるお祭りや敬老の日のお祝い、地域の園児達の定期訪問などご利用者様を楽しませて下さっております。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	当事業所の協力病院が中心ですが、協力病院外はご本人様・ご家族様と相談して決めております。家族が遠方の方等は、行える範囲で受診のお手伝いもしております。	全員が協力医の往診を受けている。専門医や従前のかかりつけ医を受診する際は、原則家族対応だが、職員が同行することもある。訪問看護師が毎週来訪し、健康管理している。ショートステイ中にかかりつけ医が来ることもある。医療情報はファイルに集約しており、職員はいつでも確認できる。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	毎週の訪問看護の他に、身体精神状況報告書というものを随時診療所の看護師・医師向けにFAXしており、情報の共有とより適切な対応を受けられる様に支援しております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	小まめな面会を心がけ、情報の収集に努めております。また、ムンテラに関しても、参加させて頂き、早期の退院が可能となる様に努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居契約時に重度化した場合の指針を提示し、ご理解を頂いております。またこの際に、終末期に向けた意向確認も取るようにしています。	毎年、法人の研修に職員が参加している。入居前に「重度化した場合における対応の指針」を説明し「看取りについての意向確認書」で対応を確認している。医師と共に家族と話し合い「医師の意見書」をもらい、看取りの希望があれば「同意書」を取り交わし、看取りを行う。ここ数年は看取りの事例はないが、いつでも要望に応じられるようにしている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	事業所にAEDを設置し、年に2度職員に救命講習を受講し、学んで頂いております。また、対応困難な事があれば、ユニットリーダーや管理者に連絡する体制を整えております。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	火災訓練、震災訓練を行っており、多くの職員が対応出来る様に取り組んでおります。	年に5回訓練を行っている。4回は地震想定避難訓練で、利用者と共にDVDを見た後にブザーを鳴らし避難誘導をしている。1回は運営推進会議の後に、夜間想定火災訓練を行い、消防署から借り受けた水消火器で消火の訓練を行っている。事務所内にあるAEDをいつでも使えるよう、年に2回救命訓練を行っている。管理者は地区の消防団で活動している。備品や備蓄は屋外の倉庫に保管している。	備蓄の食料が少なく、実際の災害時には不安が残ります。3日分の食料を確保し災害時に備えるよう期待します。

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	年2回ある接遇研修にて、声掛けや対応の基本及び応用を全職員にて学んでおります。対応が困難な時でも、クッション言葉などを利用する様に心掛けております。実践が不十分な職員には、その都度の説明と指導を行っております。	毎朝、始業前に「サービスマナー5原則」を唱和している。職員は毎年法人の接遇研修を受講しており、丁寧な言葉遣いを心掛けている。法人では年に2回、職場推薦により5原則をよく実践している職員の表彰をしている。計画書のインデックスや記録では、利用者氏名を使わず番号表示としている。個人情報を含む書類は事務所の鍵のかかる書庫に保管されている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	担当職員が定期的に意向を確認する様にしております。希望などがあつた際は、管理者まで話が通るようにしております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	極力希望に沿った柔軟な対応を心掛けているが、受診や職員の人員配置の都合上、希望に沿えていない事も多くあります。入浴などは、本人の意思を優先しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	外出の際などは、おしゃれの支援を心掛けているが、施設内では基本的にその人が希望される身嗜みを尊重しており、決まった服になってしまう事も多いです。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	お手伝いなどを多くの方に行っていただいております。行事食や月に1度の管内合同のおやつレクなどは、ご利用者様にも調理して頂ける様に努めております。	メニューと共に食材が配達され、職員が調理している。利用者はテーブル拭きや下膳などを手伝っている。職員は利用者と同じテーブルで会話しながら食事をしている。出前の日やおやつレクの日を決めて、楽しみながら食事を摂れるよう支援している。希望により個別対応で外食などの支援をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	摂取記録に関しては毎日記録し、ご本人様にあった形態を提供しております。また、個別に補食なども提供しております。人によっては、外注のペースト食などを中心に安全な栄養摂取を心掛けております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	介助を要する方の口腔ケア確りと実施出きており、一部の方は歯科衛生士の方とも連携を図っております。自立の方の確認は不十分な事もあります。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄の記録をつけて、個々に時間や対応を検討し対応しております。	ユニットごとに3か所のトイレがある。うちひとつは車いすが入れる広さがあり可動式の手すりを設置している。また別のひとつは脱衣所に隣接している。チェック表を付け、職員は情報を共有し、トイレに誘導している。重度でも日中は2人介助を行いトイレでの排泄を支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便困に関しては、きめ細かく職員が情報を共有しているが、下剤の調整がメインになってしまい、食事や運動による基本的な予防という点では不十分と思われます。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	基本的に入浴の曜日は設けず、行える時に声を掛け、その日の本人の気分を優先しております。ご利用者様から希望があった際は極力入浴できる様に調整しておりますが、介助が必要な方や本人の意向が聞けない方などは職員の都合で行う事もございます。	週に2回以上入浴ができるよう支援している。一番風呂を好む利用者など各々の希望に沿うようにしている。入りたくないという利用者にも根気よく声掛けしたり日を変えたりして、その方の気分を優先しながら支援している。ゆず湯や菖蒲湯などの行事湯を実施し、入浴を楽しめるよう工夫している。浴室前には「入浴は無料です」や「温泉です」という張り紙がしてあり、工夫がみられる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の意向や疲労感に注意し、静養を促したりしております。また、夜間帯なども眠れない方には、リビングでお話をしながら温かい物を提供したりしております。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の種類や目的などは確りと確認し、支援しているが薬の副作用という点では全ての薬について把握しているわけではありません。状態の変化などは、迅速に看護師・医師に伝達しております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	多くの方にお手伝いを行っております。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	その日の希望という点では、実施出来ない事が多いとおもいますが、事前に希望がある際は叶えられる様に調整しております（買い物など）。家族や地域の方々との協力での外出という部分では殆ど行えておりません。	天気の良い日は目の前の公園で散歩している。花見の時期には、お弁当を作りシートを持参して行っている。法人の遠足や1泊旅行に参加する利用者もいる。共用型デイサービスが始まってからは全員で出掛ける機会が減っているが、個別対応で買い物やドライブに出かけるなどの支援をしている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	殆どの方が、お金を管理しておりません。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご利用者様から電話の希望があった際は、掛けられる様に支援しております。手紙に関しては、書く事は少ないですが、届いた手紙を側で読み聞かせております。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ほとんどの部分に施錠箇所がなく、どこでも自由に入出りできるようになっております。玄関や窓は防犯の観点からストッパーなどを使用させて頂いております。	玄関には利用者と共に作った人形や作品が並べられ、職員の表彰状が飾られている。リビングは日当たりが良く、ソファでくつろぐ利用者もいる。廊下には行事の写真や利用者の作品が飾られている。2階のユニットでは犬を飼っており、共用型デイサービスやショートステイの利用者ととも楽しく過ごしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングの座席等は、互いが不快にならない様に気を遣っております。また、ソファを好まれたり、テーブルを好まれる方など各々好きな場所で過ごされております。共用部分で一人になる所はございません。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	基本的に、処遇上危険と判断しない物は何でも持ち込んで頂いております。皆様、今までの馴染みのものなどを持ち込まれております。	カーテンレール、換気扇、クローゼットは備え付けである。それ以外の物は持ち込み可能で、利用者は各々ベッドやテレビ、エアコン、照明器具、テーブル、いす、小型冷蔵庫、扇風機などを持ち込み、思い思いの生活をしている。居室のドアには利用者の名前が大きく表示され、居室担当者の写真が掛けられている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	殆どの部分がバリアフリーになっており、各々が自由に生活しております。転倒などの事故予防の為、リビングなどの空間に障害となる物を少なくしたりしてます。		



事業所名	高齢者グループホーム かわしまの里
ユニット名	芭蕉

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない



自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「慣れ親しんだ地域で、家族や地域との交流を通しながら、家庭的な雰囲気ですっきり、一緒に楽しく過ごして頂く」という理念を中心にご利用様のペースで生活が行える様意識しています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	目の前の公園の定期清掃や地域の祭りの準備等を行っております。地域のお祭りでは、出店等も行いました。消防団の活動も少しずつ行わせて頂いております。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の中学生の体験学習の受け入れ、地域CPでの認知症相談ブース開催など認知症理解の啓発をさせて頂きました。世界アルツハイマーデー付近には、包括と連携し、認知症の啓発活動も行っております。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、地域の行事や非常災害時の取組みなどに良いアドバイスを頂き、実際に地域住民との合同の訓練に結びつけております。家族の参加が無いので、今後の課題です。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	生活保護の方の対応や、近隣独居利用者の通所や短期利用など、利用に繋がる様に情報共有や担当者会議をしたりしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束排除の理念を掲げ、勉強会を活用しながら、身体拘束ゼロへ取り組んでおります。玄関や居室窓などは、防犯の観点から、ご家族様にご理解を頂きながら、施錠を行っております。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見 overs されることのないよう注意を払い、防止に努めている	毎年、勉強会を通じて虐待防止に向けた研修を行い、実践しております。ニュースなどで取り上げられるものに関しても周知をし、随時学ぶ機会を設けています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修を通し学んでおりますが全ての職員には伝えきれていない現状があります。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約前には、基本的に施設見学をして頂き、サービスや料金についての説明をさせて頂いております。その際に、不安な点や分からない事を必ず伺い、その上で契約を通し、再度丁寧に説明する事を心掛けております。契約書・重要事項説明書の雛形も窓口配置し、自由に目を通せる様にしております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	月に1度担当職員がご利用者様本人に意向を伺う様にしております。ご意見箱の設置を行っておりますが、活かさきれていない現状があります。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	管理者からの意見や情報の発信は多くありますが、職員からの提案という部分では日々の申し送り時などが中心となっております。ただし、日常的に意見や相談しやすい環境は設けております。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者が直接個々との面談などは殆ど行えておりませんが、管理者が話す機会を多く持っております。給与水準という部分では、資格や勤続年数が基本となっております		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	年間の研修カリキュラムを中心に個々のスキルアップの機会を多く作って頂いております。介護福祉士修得の研修、喀痰吸引研修などの参加支援をしております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	ネットワーク作りという部分では、地域包括開催の高齢者福祉入居施設連絡会やGH連絡会などに参加しております。また、他施設の交換研修も行って、情報交換を行っております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	施設の入所前は、基本のご利用者様に中の雰囲気を感じて頂き、スムーズに入所出来る様に短期利用から開始したり、配慮しております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	契約の際に、ご家族様に施設でどの様に過ごして欲しいか、不安な事がないか伺うように心がけております。また、施設入所が不安な方などで、短期利用から始められた方も多くおります。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	計画作成担当者を中心に先ず、ご本人様に慣れて頂く様なケアを職員間に徹底させています。また医療との連携など、今までの診療が途切れない様にも努めております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	出来る事は行って頂き、出来ない事をお手伝いさせて頂くという事を心がけております。ご利用者様のお手伝いも多くの方が出来る事を行って下さいます。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月の手紙や状態が優れない時などの連絡を通して情報の共有に努めておりますが、「家族と共に」という部分では、まだまだ不十分でご家族様にも、もっと足を運んで頂きたい思います。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人宛に来た手紙などは、本人の側で読み上げたりしています。また、電話の利用に関しても職員が手伝いをしたりして、行える様にしています。施設からも毎月お便りを送っております。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	お手伝いやレクを通じてご利用者様同士の関係を支援しておりますが、一部の方以外は関係構築が不十分な方も多くおられます。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	こちらから、ご連絡する事は殆どありませんが、ご相談などがある際は確りと対応させて頂いております。退所後の入居施設の申し込みのお手伝いなどをさせて頂いております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	担当職員と計画作成担当者を中心にアセスメントを行い、意向の把握に努めています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時の情報収集にて把握に努めております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	担当職員が毎月、個人担当シートを基に状況の把握に努めております。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご利用者様、ご家族様、担当職員、計画作成担当者が中心となって行っておりますが、一部のご家族様とは書類でのやりとりとなる事もございます。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	情報の共有に関しては、連絡ノート・申し送り等で行えていると思います。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	介護認定の更新手続きや特養の申し込みの相談、支援を行っております。また、協力病院以外の通院なども、出来る範囲で支援しております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域のボランティアの方による音楽会や町内会によるお祭りや敬老の日のお祝い、地域の園児達の定期訪問などご利用者様を楽しませて下さっております。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	当事業所の協力病院が中心ですが、協力病院外はご本人様・ご家族様と相談して決めております。		
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	毎週の訪問看護の他に、身体精神状況報告書というものを随時診療所の看護師・医師向けにFAXしており、情報の共有とより適切な対応を受けられる様に支援しております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	小まめな面会を心がけ、情報の収集に努めております。また、ムンテラに関しても、参加させて頂き、早期の退院が可能となる様に努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居契約時に重度化した場合の指針を提示し、ご理解を頂いております。またこの際に、終末期に向けた意向確認も取るようにしています。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	事業所にAEDを設置し、年に2度職員に救命講習を受講し、学んで頂いております。	/	/
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	火災訓練、震災訓練を行っており、多くの職員が対応出来る様に取り組んでおります。		



自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	年2回ある接遇研修にて、声掛けや対応の基本及び応用を全職員にて学んでおります。実践が不十分な職員には、その都度の説明と指導を行っております		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	担当職員が定期的に意向を確認する様にしております。希望などがあつた際は、管理者まで話が通るようにしております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたか、希望にそつて支援している	極力希望に沿つた柔軟な対応を心掛けているが、受診や職員の人員配置の都合上、希望に沿えていない事も多くあります。入浴などは、本人の意思を優先しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	外出の際などは、おしゃれの支援を心掛けているが、施設内では基本的にその人が希望される身嗜みを尊重しており、決まつた服になってしまう事も多いです。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	お手伝いなどは行つて頂いているものの、一部の方が中心なので、もっと多くの方に携わつて頂く事が必要だと思つます。月に1度館内合同のおやつレクなどもあります。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	摂取記録に関しては毎日記録し、ご本人様にあった形態を提供しております。また、個別に補食なども提供しております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	介助を要する方の口腔ケア確りと実施できており、一部の方は歯科衛生士の方とも連携を図っております。自立の方の確認は不十分な事もあります。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄の記録をつけて、個々に時間や対応を検討し対応しております。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便困に関しては、きめ細かく職員が情報を共有しているが、下剤の調整がメインになってしまい、食事や運動による基本的な予防という点では不十分と思われれます。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	基本的に入浴の曜日は設けず、行える時に声を掛け、その日の本人の気分を優先しております。ご利用者様から希望があった際は極力入浴できる様に調整しておりますが、介助が必要な方や本人の意向が聞けない方などは職員の都合で行う事もございます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の意向や疲労感に注意し、静養を促したりしております。また、夜間帯なども眠れない方には、リビングでお話をしながら温かい物を提供したりしております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の種類や目的などは確りと確認し、支援しているが薬の副作用という点では全ての薬について把握しているわけではありません。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	お手伝いなど行える方には行って頂いております。気分転換に関しては、散歩や行事が中心となっております。施設内レクに関しても歌や塗り絵、体操など個々の好きなものに参加されております。嗜好品は個別に楽しませております。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	その日の希望という点では、実施出来ない事が多いとおもいますが、事前に希望がある際は叶えられる様に調整しております（買い物など）。家族や地域の方々との協力での外出という部分では殆ど行えておりません。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	一部の方ですが、毎月授受を交わし、現金を個人で管理されている方もおります。買い物に行く時は、職員が全て行うのではなく、その方がレジの方と対応出来る様に支援しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご利用者様から電話の希望があった際は、掛けられる様に支援しております。手紙に関しては、書く事は少ないですが、届いた手紙を側で読み聞かせております。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	殆どの部分に施錠箇所が無く、どこでも自由に出入り出来る様になっております。玄関や窓は防犯の観点からストッパーなどを使用させて頂いております。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングの座席等は、互いが不快にならない様に気を遣っております。また、ソファを好まれたり、テーブルを好まれる方など各々好きな場所で過ごされております。共用部分で一人になる所はございません。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	基本的に、処遇上危険と判断しない物は何でも持ち込んで頂いております。皆様、今までの馴染みのものなどを持ち込まれております。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	殆どの部分がバリアフリーになっており、各々が自由に生活しております。転倒などの事故予防の為、リビングなどの空間に障害となる物を少なくしたりしています。		

目 標 達 成 計 画 (H29.3 外部評価を受けて)

利用者グループホーム

事業所名 かわしまの里

作成日 H30年5月8日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	6	利用者やご家族等が意見、要望を管理者・職員に並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させる。	ご家族が職員等へ気軽に話せる機会を作り、ご利用者を一緒に支援させて頂くという距離を近くしていく。また、家族同士で交流が図れる環境を作っていく。	前年度から行っている推進会議の開催日の報告、今後も家族の参加を呼び掛けていく。今年度は、家族懇談会を開催し、施設に足を運んで頂き、家族同士や職員との交流を図っていく。	第1回目の懇談会は、6.24予定

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。